

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸スポーツ学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	臨床医学各論Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	後期	教室名	2校舎502教室
担 当 教 員	和歌 秀典	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
①疾患の原因、②病態生理から症状 ③検査 ④治療						
《成績評価の方法と基準》						
1.定期試験(筆記試験) 2.各章毎に行なう試験(筆記試験)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版 プリント:過去27年間のはり師・きゅう師・あま指の過去問						
《授業外における学習方法》						
東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版を中心に板書形式で行い、最後に教科を一読する進行形式です。板書した内容、教科書以外に最新の検査・治療について追記していきます。毎授業後に自分にあったスタイルでまとめ、知識の定着を行なってください。						
《履修に当たっての留意点》						
1年生で習った解剖学、生理学、2年で学習する病理学概論を応用することが多い教科で基礎医学から応用科目に移行する科目です。 事前に行なう範囲の基礎科目を予習しておいてください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	特に、逆流性食道炎については教科書以外の内容も概説できる。	東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版	生理学・解剖学:消化器	
	講義形式	各コマにおける授業予定	口腔疾患(齲歯・顎関節症)・食道疾患(ガード症候群・食道癌)			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	Hp菌と慢性胃炎、胃癌の関連をしっかりと概説できる。	東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版	生理学・解剖学:消化器	
	講義形式	各コマにおける授業予定	食道静脈瘤・胃十二指腸潰瘍・胃癌			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	免疫寛容の破綻によっておこる2つの疾患の違いをしっかりと概説できる。	東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版	生理学・解剖学:消化器	
	講義形式	各コマにおける授業予定	腸疾患(潰瘍性大腸炎・クローン病・大腸癌)、ポイツ・イエガー症候群			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	男性癌死因1位の大腸癌。イレウスの種類の違いを理解する	東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版	生理学・解剖学:消化器	
	講義形式	各コマにおける授業予定	腸疾患(大腸癌・過敏性腸症候群)			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	イレウスの原因別症状を概説できる。	東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版	2年次で習う炎症・自己免疫異常を理解する	
	講義形式	各コマにおける授業予定	腸疾患(虫垂炎)、腹膜炎、イレウス			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	各ウイルスによる症状の違いをしっかりと把握する。	東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版	公衆衛生学
		各コマにおける授業予定	ウイルス性急性肝炎(A・B・C・D・E)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	慢性肝炎から肝硬変の門脈圧亢進症状を概説できる。	東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版	生理学・解剖学:肝臓
		各コマにおける授業予定	慢性肝炎・肝硬変・肝癌・原発性胆汁性肝硬変		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	近年の胆石の発生原因・病態生理を概説できる。	東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版	生理学・解剖学:肝臓
		各コマにおける授業予定	胆石・胆のう炎・その他の胆のう疾患		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	膵臓の機能から各疾患の病変を概説できる。	東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版	生理学・解剖学:肝臓
		各コマにおける授業予定	膵疾患(急性膵炎・慢性膵炎・膵癌)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	肺結核では、特徴的な症状。上気道炎から肺炎にかけての起炎病原微生物を概説できる。	東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版	生理学・解剖学:呼吸器
		各コマにおける授業予定	呼吸器疾患(上気道炎～肺炎)、肺結核		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	閉塞性換気障害の特徴を概説できる。	東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版	生理学・解剖学:呼吸器
		各コマにおける授業予定	COPD、気管支喘息		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	拘束性換気障害の特徴を概説できる。肺気管支がんの種類を概説できる。	東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版	生理学:赤血球
		各コマにおける授業予定	特発性肺線維症・肺癌・気管支拡張症		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	脳卒中(出血と梗塞の違い)を概説できる。	東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版	解剖学:大脳
		各コマにおける授業予定	神経疾患(脳梗塞)、脳出血、一過性脳虚血発作		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	髄膜刺激症状を概説できる。	東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版	解剖学:大脳
		各コマにおける授業予定	神経疾患(クモ膜下出血、髄膜炎)		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	特徴的な症状を概説できる。	東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版	生理学:伝導路
		各コマにおける授業予定	神経疾患(神経梅毒・ポリオ)		

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸スポーツ学科		科 目 区 分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科 目 名	臨床医学各論Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	60 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	2年生		学期及び曜時限	後期	教室名	2校舎502教室
担 当 教 員	和歌 秀典	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
①疾患の原因、②病態生理から症状 ③検査 ④治療						
《成績評価の方法と基準》						
1.定期試験(筆記試験) 2.各章毎に行なう試験(筆記試験)						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版 プリント:過去27年間のはり師・きゅう師・あま指の過去問						
《授業外における学習方法》						
東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版を中心に板書形式で行い、最後に教科を一読する進行形式です。板書した内容、教科書以外に最新の検査・治療について追記していきます。毎授業後に自分にあったスタイルでまとめ、知識の定着を行なってください。						
《履修に当たっての留意点》						
1年生で習った解剖学、生理学、2年で学習する病理学概論を応用することが多い教科で基礎医学から応用科目に移行する科目です。 事前に行なう範囲の基礎科目を予習しておいてください。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第16回	講義形式	授業を通じての到達目標	良性と悪性の違い。下垂体腺腫による随伴症状を概説できる。	東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版	解剖学:下垂体	
		各コマにおける授業予定	神経疾患(脳腫瘍)			
第17回	講義形式	授業を通じての到達目標	基底核疾患に共通した症状と各疾患に特有した症状を概説できる。	東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版	解剖学:基底核	
		各コマにおける授業予定	基底核疾患(パーキンソン・ハンチントン病・ウィルソン病)			
第18回	講義形式	授業を通じての到達目標	原因による認知症の違いをしっかりと概説できる。	東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版	生理学:中枢	
		各コマにおける授業予定	認知症疾患(アルツハイマー 脳血管型認知症 ピック病)			
第19回	講義形式	授業を通じての到達目標	原因、症状、予後を概説できる。	東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版	生理学:運動	
		各コマにおける授業予定	筋疾患(重症筋無力症 進行性筋筋ジストロフィー 筋強直性筋ジストロフィー)			
第20回	講義形式	授業を通じての到達目標	ギラン・バレー・片頭痛・群発性頭痛を概説できる。	東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版	解剖学・生理:神経系	
		各コマにおける授業予定	その他の神経疾患(ギラン・バレー症候群・片頭痛・群発性頭痛)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第21回	講義形式	授業を通じての到達目標	原因と特有な形態を概説できる。	東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版	解剖学:骨格
		各コマにおける授業予定	整形外科:形態異常(3大奇形・側弯)		
第22回	講義形式	授業を通じての到達目標	一般的な骨折の固有症状を概説できる。	東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版	解剖学:骨格
		各コマにおける授業予定	骨粗しょう症・骨腫瘍・骨折総論		
第23回	講義形式	授業を通じての到達目標	鍼灸師で知っておかないといけない骨折を概説できる。	東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版	解剖学・生理:腎臓
		各コマにおける授業予定	骨折各論 I		
第24回	講義形式	授業を通じての到達目標	鍼灸師で知っておかないといけない骨折を概説できる。	東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版	解剖学・生理:腎臓
		各コマにおける授業予定	骨折各論 II		
第25回	講義形式	授業を通じての到達目標	鍼灸師で知っておかないといけない脱臼を概説できる。	東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版	解剖学:骨格
		各コマにおける授業予定	脱臼総論・各論		
第26回	講義形式	授業を通じての到達目標	狭窄症とすべり症の違いを明確に概説できる。	東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版	解剖学:骨格
		各コマにおける授業予定	脊柱管狭窄症、その他		
第27回	講義形式	授業を通じての到達目標	最低限、国家試験に出ているキーワードを概説できる。	東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版	教科書:ライン・書き込んだ箇所・ノートを理解
		各コマにおける授業予定	1～27回あはき国家試験:消化・肝胆膵疾患		
第28回	講義形式	授業を通じての到達目標	最低限、国家試験に出ているキーワードを概説できる。	東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版	教科書:ライン・書き込んだ箇所・ノートを理解
		各コマにおける授業予定	1～27回あはき国家試験:呼吸器疾患・神経疾患		
第29回	講義形式	授業を通じての到達目標	最低限、国家試験に出ているキーワードを概説できる。	東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版	教科書:ライン・書き込んだ箇所・ノートを理解
		各コマにおける授業予定	1～27回あはき国家試験:整形外科疾患(ATの範囲含む)		
第30回	講義形式	授業を通じての到達目標	全範囲の各疾患のキーワードを再認識する。	東洋療法学校協会編:臨床医学各論 第2版	教科書:ライン・書き込んだ箇所・ノートを理解
		各コマにおける授業予定	1～27回あはき国家試験抜粋問題演習		